

**PART 2：新宿区高田馬場エリア  
オオゼキ vs 西友、マルエツプチ  
都市小型フォーマット対決 惣菜編&日配編**

城取フードサービス研究所  
城取 博幸



**惣菜部門**

高田馬場駅近くの都市型小型SM、西友、オオゼキ、マルエツプチの3店舗を店舗視察し、そのレイアウト、商品、品揃えの特徴や価格訴求力、売場提案力などの比較分析。高田馬場駅から、同じ道路、同じ側で西友、オオゼキ、マルエツプチの順で十分歩ける距離で3店舗が出店している。

**西友のレイアウトとその特徴**

店舗中央の一等地に多段ケースで惣菜売場をレイアウト。バラの揚物は、スライド式の扉が付いていて衛生的であるのが印象的。午前11時の売場はケースにぎっしりと商品が並べられている。西友の惣菜は、子会社の「若菜」が受け持っている。商品の特徴は、インスト製造商品とアウトパック商品をうまく組み合わせ品揃えしている点だ。アウトパックのパスタ類198円、弁当298円、おにぎり68円の商品で安さを演出しているが、インストアで製造される揚物類や弁当類はそれほど安い訳ではない。アウトパック商品で価格訴求を行い、インスト製造商品で利益を稼ぐという戦略である。

### オオゼキのレイアウトとその特徴

オオゼキの惣菜、寿司は、客動線の一番最後の第4コーナーにレイアウトされている。コンコースから外れて、レジの外に出ているため客通りが少なく、衝動買いが少ないという欠点がある。寿司は「美登利寿司」、惣菜は「サンエー」のテナントが入っている。直営部分は日配のケースでサラダや一部惣菜類などな並んでいる。オオゼキの特徴は、とにかく高齢者が多い店である。そのため、味にはうるさい客が多い。その分、惣菜、寿司を専門業者のテナントに任せているのは正解で、SMの直営の惣菜とは少し品揃えが違う。

### マルエツのレイアウトとその特徴

マルエツプチは、高田馬場駅からは一番遠い位置にある。駅から離れて住んでいるお客には近いが、駅から、西友、オオゼキを通り越して行くことになる。マルエツプチの惣菜の特徴は、早稲田の店とは違い、揚物が中心ではなく、弁当、丼、寿司をフルラインでインスタ製造している。午前11時30分で、インスタ製造の弁当、丼で約100個、午後2時以降では、弁当、寿司ともよく売れていて、売場の在庫は三分の一程に減っていた。弁当、丼は高額品のみが残っていた。レジの前にはホットウォーマーに入った「おでん」も販売されている。さらに、注文書に記入すれば、揚げたての揚物を提供してくれる。チルド売場は小型店の割には商品が充実している。

### 気になった商品

#### 1. 西友 「ナポリタンパスタ」 198円



チルドのナポリタンで198円の価格設定で話題になった商品。西友では、298円弁当、68円おにぎりも惣菜の価格破壊を引き起こした。「ナポリタンパスタ」は、ウインナー、チーズがトッピングされていて198円は確かに安い。さらに397円の高額のクラスも品揃えしている。しかし、イオンの冷凍パスタ148円とも競合する。パスタは冷凍、チルドともよく売れているため、今後のさらなるアイテムの拡大に期待したい。

## 2. オオゼキ 「赤飯」 298 円



テナントの「サンエー」で売られている赤飯。国産のもち米と大納言小豆を使った商品。赤飯を買う人は味にうるさい人が多いだけにしっかりとした商品を品揃えする必要がある。その点この商品は、しっかりと蒸されていて、もち米が一粒一粒しっかりしていて味もよい。

## 3. マルエツプチ 「天ぷら専科 天つゆ」 50 円



マルエツプチの揚物のバラ販売の陳列ケースの上で売られている1人前の「天つゆ」。市販用ではありそうでなかった商品。とろみのないサラッとタイプで、天ぷら、天井だけでなく、フライや唐揚げにかけても和風味でおいしい。バラ販売の天ぷらと組み合わせれば、プラスワンのおかずになる。

### 惣菜の専門性

西友、オオゼキの惣菜が、惣菜専門のテナントに対して、マルエツプチは自前の直営の惣菜である。テナントの専門性に対抗するために、注文で揚げたての揚物の提供、レジ前でコンビニのようにウォーマーに入った「おでん」のバラ販売を行って独自性を出そうとしている。チェーンストアではなかなかやっていないことだ。直営でも売り方を工夫すれば独自性が出せることが参考になった。

さらに、インスタ加工には限界があるため、これからの惣菜は、レンジ・アップ商品（レディ・ミール）やサラダやサンドッチなどの即食系のアウトパック商品で専門性、独自性をいかに出すかが課題だ。

### 惣菜の主力商品の最低価格比較

	西友	オオゼキ	マルエツプチ
コロッケ	49 円	48 円	98 円
野菜かき揚げ		98 円	海老入 120 円
鶏唐揚げ 1パック	198 円	263 円	203 円
おにぎり	68 円	98 円	98 円
弁当	298 円	298 円	398 円
にぎり寿司	397 円	714 円	498 円
カツ丼	397 円	398 円	398 円
ポテトサラダ 小 パック	128 円	81 円	98 円
ひじき 小パック	128 円		128 円

## 日配部門

JR高田馬場の駅前の同じ通りに「西友」「オオゼキ」「マルエツプチ」と3店舗が歩ける距離にある。駅から歩くお客はその順序だが、駅から離れたお客は、「マルエツプチ」「オオゼキ」「西友」の順である。

3店舗の中では、「オオゼキ」に客がよく入っている印象を受ける。中でも高齢者に人気があるようだ。店の前に青果売場があるため、市場スタイルで入りやすい。オオゼキは日配品に限らず、生鮮食品やドライ食品が高齢者に好まれる品揃えである。品揃えだけでなく、従業員の高齢者に対する対応もしっかりしている。

西友は、駅に一番近いという立地的メリットがあり、コモディティ商品を低価格で販売、価格調査でも最低価格の品目が多い。マルエツプチは、駅から一番離れているものの、駅から離れた客を取り込んでいる。

### 西友のレイアウトと品揃えの特徴

日配品のレイアウトは、青果側に和日配、第3コーナー側に洋日配と一般的なレイアウトである。西友はご存じの通り「低価格のコモディティ型」「EDLP価格政策」の店舗である。確かに価格調査では、同一商品に限らず最低価格をだしている。しかし、最低価格商品がケース最下段で販売されている訳ではない。プライスカードは価格の部分は大きいですが、商品名が小さいため高齢者には、分かりづらいという欠点がある。

### オオゼキのレイアウトと品揃えの特徴

オオゼキの店頭の青果売場はいつも客でにぎわっていて、自然と店内に引き込まれる。日配品は、店の第3コーナーの壁面と島陳列ケースで展開されている。島ケースは練製品と麺類。第3コーナーのマグネットは納豆売場であるが、販売スペースが狭いため、上段は煮豆、佃煮売場になっている。

西友の「EDLP価格政策」に対して、オオゼキは「ハイ&ロー価格政策」である。それゆえに、陳列ケースの最下段（陳列ケース下段壁面）には、常に大きなプライスカードが貼られている。POPの大きさを思わず手が出してしまうのが特徴。価格は毎日流動的に変わる。

### マルエツプチのレイアウトと品揃えの特徴

店頭には「焼き芋」を売っていて、焼き芋の香ばしい臭いがする。日配品のレイアウトは、入口の青果売場の近くに和日配、第3コーナーに洋日配を配置している。和日配の特徴は、練製品と麺類の間に、「おつまみコーナー」を差し込んでいる。ピザなどのスナック類にも力を入れてホットケーキや「ドリア用とろけるスライス ホワイトソース味」などを関連販売している。

また、今後成長が望める「冷凍食品」は、リーチインケースでコンコースの壁面にレイアウトされている。



## 気になった商品

### 1. 西友 「野菜&フルーツミックス 100% 500ml」 99円



「砂糖、食塩不使用」500mlのサイズの野菜&フルーツ飲料。普通の商品はフルーツ果汁の方が多いが、この商品は野菜汁分が50%もあるのがうれしい。気温が上昇するに従い飲料の需要も伸びるので、200mlのパーソナル商品だけでなく、500ml、1ℓの商品も品揃えしたい商品だ。

### 2. オオゼキ 「ドーナツ おやつパック」 299円



いろいろな種類のドーナツが6個入って299円。昔からある商品だが、子供が春休みに入るタイミングで大陳して販売しているはさすがである。ボリューム感もあり、大人にも子供にも好まれるロングランヒット商品。

### 3. マルエツプチ 「ホットケーキ6枚 398円」「ふわっと、もちっとパンケーキ2枚 98円」



6枚入りのパンケーキはピザなどのスナックコーナーで販売。2枚入りはパンコーナーで大陳されていた。2枚入りの商品は「プリン&カラメル」がサンドされている。同じような商品の大量（450円）がコストコでよく売れている。マスコミで取り上げられている「アメリカン ブレックファスト」でホットケーキの人気の高まっている折に2ヶ所で展開しているのは正解。メイプルシロップやホイップバターが関連陳列されれば最高。

### 「EDLP価格政策」と「ハイ&ロー価格政策」

都市型小型店の西友の「地域最低価格、EDLP価格政策」に対して、オオゼキの「地域密着型、ハイ&ロー価格政策」の戦いが見ものである。「EDLP価格政策」は、即効性は少ないがジワジワと客に価格の安さが浸透する。一方、「ハイ&ロー価格政策」は、チラシやインプロで価格をだすことで即効性がある特徴がある。日本人は「ハイ&ロー価格政策」に慣れているが、「EDLP価格政策」も徐々に浸透しつつある。オオゼキの「情」の商売に対し、西友の「理」の商売が今後見ものである。今後のマルエツプチの立ち位置もどうなるか見守りたい。

### 日配品の主力商品の最低価格比較

	西友	オオゼキ	マルエツプチ
豆腐 300g	38円	58円	58円
納豆 3段重ね	47円	79円	58円
焼きそば 3食	97円	148円	128円
生ちくわ	97円	99円	98円
白菜漬け	250g 158円	250g 199円	250g 188円
無調整牛乳 1ℓ	158円	158円	157円
プレーンヨーグルト	127円	108円	128円
食パン 6枚入り	75円	118円	88円
玉子 6個入り	138円	199円	188円